

学生の1日の様子

渡航してから約1ヶ月が経ち、学生たちはオーストラリアでの学校生活に慣れてきたようです。今号では、学生たちの学校での1日の様子をご紹介します。

【登校時】

朝、学校に到着した学生はBGCAオフィスに来て、タイムカードを押した後に、連絡事項を確認します。



タイムカードをタイムレコーダーに挿入します。

↑ 毎朝、掲示板を確認します。

↑ 報告や相談がある学生は、SSOに声をかけます。

【休憩時間】

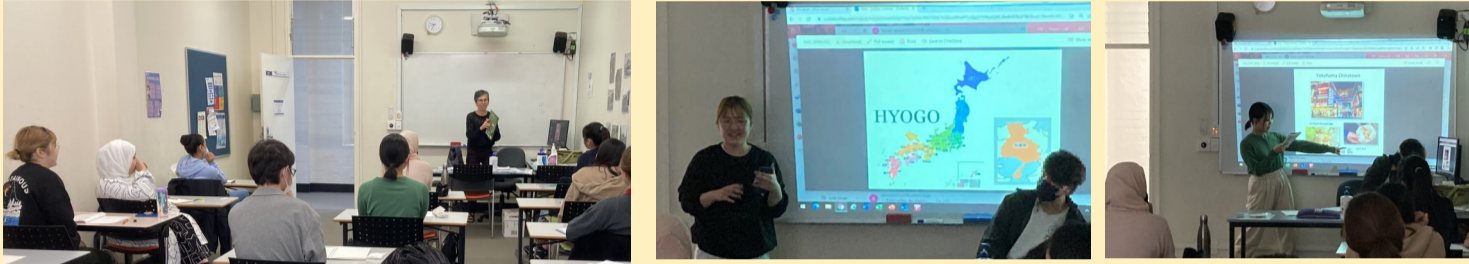
10時半～11時までは、休憩時間です。この時間を利用して早めの昼食をとる学生もいます。



キャンティーン（学生食堂）や教室で、クラスメートと雑談しながら、食事をしています。

【授業】

全クラス週5日、8時半～1時まで、2時間授業を2コマ受けます。



TELC Ultimoの授業では、与えられたトピックについて調べたことを発表する機会があります。この日は、各自の出身地を紹介しました。



会話の練習をする機会もたくさんあります。この日は、2クラス合同で普段話す機会のない学生同士が交流しました。

【放課後】

BGCAオフィスで図書を借りたり、SSOに相談したり、TAFEキャンパス内の図書館で勉強したり、友だちと出かけたりしています。



↑ BGCAオフィスには英語の参考書などがあります。

↑ BGCAオフィスが開いている平日午前8時から午後4時は、いつでもSSOに相談できます。

↑ 図書館で、課題や授業の予復習をします。

↑ Ultimoキャンパスはシドニー市街地にあり、お店やカフェがたくさんあります。

Upper Intermediate修了

セッション4で永野あかりがUpper Intermediateを修了し、セッション5からEAP(大学進学のための英語コース)を受講開始します。



Excursion

TELC Ultimoでは、Excursionと呼ばれる課外授業に出かける機会があります。



Upper Intermediate 1クラスは、Ultimoキャンパス近くのHarold Parkにバスに乗って出かけました。イラク出身のクラスメートが郷土料理を用意してくれ、ピクニックランチを楽しみました。

Language Exchange

BGCAでは毎年シドニー工科大学とマッコーリ大学で日本語を勉強している学生からランゲージエクスチェンジパートナーを募集し、学生たちに紹介しています。ランゲージエクスチェンジとは、違う言語を話す人同士が互いの言語を教え合う学習方法です。英語学習だけでなく、現地での友人作りに役立てて欲しいと願っています。



1人の大学生に対して複数の学生から応募があった場合は、ジャンケンやあみだくじでペアを決めました。

15期生16名全員にランゲージエクスチェンジパートナーが決まりました。早速パートナーと連絡を取り合って日時を決め、オンラインビデオ会議で交流したり、直接会って交流を深めているようです。

BGCA Speaking Session

5月11日(水)から、SSOと学生が少人数で30分間英語を話すSpeaking Sessionを実施しています。SSOから、オーストラリアで日常会話に使われる英語表現に関するクイズを出題しています。今後は、様々なトピックについて自分の意見を発表したり、ディスカッションをする機会も取り入れていく予定です。



15期生便り



野津 蒼生
鳥取県立八頭高等学校
(鳥取県)

留学して楽しいことは、いろんな国の人と話せて、新しいことをたくさん知れることです。留学してからいろんな国籍や宗教、文化の人と会ったり話したりできて、それがとても新鮮で楽しいです。台湾にも温泉があるそうです。ミャンマーにはとても美味しい料理があるそうです。学校に行ってもそこで交わされる会話、知識、その人の意見、何気ない日常の一部がそれぞれ刺激的で、とても充実していると感じます。シドニーでの新しい発見は、「電車がちゃ

んと来ること」です。「日本の電車は時間通りに来てすごい!」この言葉を聞いたことがある人、そう思っている人は少なくないはず。ただ実際、オーストラリアでもちゃんと来ます。遅れている場合はアプリで確認できます。些細なことだけど、実際に来てみると分らなかったし、これからは気づくことがたくさんあると思うので、それも楽しみです。基本的にポジティブな性格なので、今のところ留学して辛いと思うことはないです。将来は水族館の飼育員や、生き物に携わる仕事をしたいので、生態学や保護動物学といったコースに進みたいです。また、いろんな国に行ってみたくて、TELCでできるだけ英語をたくさん学んでおきたいです。